

辺地に係る公共的施設の総合整備計画書

- 1 山家辺地 (庄原市西城町)
(計画期間：令和4年度～令和7年度 4年間)
- 2 三坂辺地 (庄原市西城町)
(計画期間：令和4年度 1年間)
- 3 小奴可辺地 (庄原市東城町)
(計画期間：令和4年度～令和7年度 4年間)

令和4年3月
広島県庄原市

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市西城町 山家辺地
(辺地の人口 60 人、面積 9.5 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称
庄原市西城町平子

(2) 辺地の中心の位置
庄原市西城町平子 675 番地 6

(3) 辺地度点数
114 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から東北へ約 15km に位置し、標高 738m の四天蓋山南東に位置する山村集落で、主要地方道新市七曲西城線とそれに接続する市道に沿って細長く形成された集落である。過疎化の進行により地域活力の停滞が顕著な地域である。

本地域の道路網については、幅員が狭小で一般車両の離合や緊急車両の通行に支障をきたしており、また冬期の積雪により通行が困難となる場合もあることから、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、早急な道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 4 年度から令和 7 年度までの 4 年間

(単位：千円)

施 設 名	区 分 事業主体	事 業 費	財 源 内 訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道宮の谷線)	庄原市	42,000	—	42,000	42,000
合	計	42,000	—	42,000	42,000

総合整備計画書

広島県庄原市西城町 三坂辺地
(辺地の人口 126 人、面積 17.8 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称
庄原市西城町三坂

(2) 辺地の中心の位置
庄原市西城町三坂 5177 番地 17

(3) 辺地度点数
199 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北東へ約 33 kmに位置しており、北は鳥取県に接し、急峻な山間の地形に集落が点在する地域である。

本地域に立地するひば道後山高原荘は、入浴施設(すずらんの湯)や休憩室・食堂・売店を備えた観光宿泊施設として、道後山等でのスキーやクロカンパークにおけるスポーツ合宿などで多くの方に利用されている。

当該施設は建設後 17 年が経過し、老朽化に伴う整備が必要となっている。

3 公共的施設の整備計画

令和 4 年度の 1 年間

(単位：千円)

施設名	区分 事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
観光レクリエーション施設 (ひば道後山高原荘)	庄原市	9,553	—	9,553	6,100
合	計	9,553	—	9,553	6,100

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市東城町 小奴可辺地
(辺地の人口 1,037 人、面積 86.1 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市東城町小奴可、加谷、内堀、塩原、千鳥、小串

(2) 辺地の中心の位置

庄原市東城町小奴可 2658 番地 3

(3) 辺地度点数

167 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北東へ約 35 km に位置し、北は鳥取県、東は岡山県に接している。平坦地に乏しい急峻な地形に加え、標高 500m 以上に集落が点在する山間の農村地域である。

地域内を通過する国道 314 号線が住民の利便性や生産活動において重要な役割を果たしているが、各集落から国道に通じる市道の幅員が狭小であるため、一般車両の離合や緊急車両の通行に支障をきたしていることから、早急な道路網の改良・整備が必要となっている。

3 公共的施設の整備計画

令和 4 年度から令和 7 年度までの 4 年間

(単位：千円)

施 設 名	区 分 事業主体	事 業 費	財 源 内 訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道野田瀬戸奥線)	庄原市	60,000	—	60,000	60,000
合	計	60,000	—	60,000	60,000